

生理検査

超音波検査

超音波検査とは、人が聞くことが出来ない高周波の音の反響を利用して体の中の状態を画像にする検査です。レントゲンのように被爆の影響を受けないため安心して検査ができ、痛みの無い検査です。また、体の中を直接観察でき、血液の流れもリアルタイムに評価できます。

腹部超音波

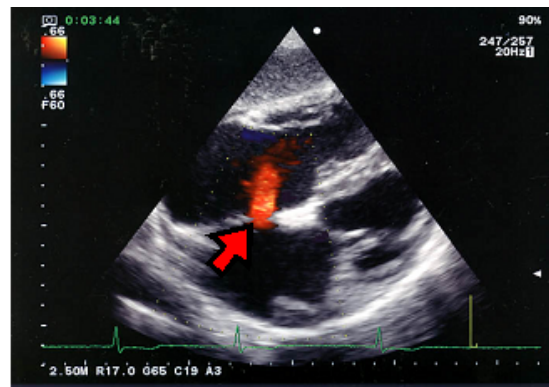
肝臓や胆道、腎臓、脾臓、膵臓、膀胱、前立腺を主に観察しています。



肝臓癌の画像です。癌の部分が明瞭に映し出されています。

心臓超音波

心臓から全身に血液を送り出す程度や、心臓の壁運動、弁の異常、逆流、奇形などを主に観察します。



心房中隔欠損です。欠損している孔(あな)を通して左房から右房へ流入する血流が赤色に見えています。

血管超音波 (頸動脈、下肢動脈・静脈、上肢)

動脈硬化などによる血管の石灰化や狭窄の程度、静脈内の血栓の有無、静脈瘤などを検査します。

表在超音波 (乳房、甲状腺、皮膚)

腫瘍の形態や堅さ、血流から良性か悪性のどちらに近いかが判断します。

経食道心臓超音波

専門医が行います。胃カメラのように口から食道に直径約1cmの超音波内視鏡を入れ、心臓を食道から観察する検査です。食道は心臓のすぐ後ろにあるため心臓の鮮明な画像が得られます。経胸壁心エコー検査で描出困難な場合や、さらに詳しく観察したい場合に行われます。